



学校だより

令和4年6月30日

# 横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>



## 「なぜだろう？」

副校長 浅野 真弘

史上最短で梅雨が明け、連日暑い日が続いています。登下校や体育、休み時間などで熱中症が心配されますので、適宜マスクを外したり、水分補給をしたりしながら過ごすことができるよう指導を行っています。ご家庭でも、お子さんの体調管理に引き続きご協力をお願いいたします。

ミニエノリンピックを終え、一回り成長した子どもたちは、6月中いろいろな活動に取り組みました。体力テストやクラブ活動では、他学年の子と協力して進めていました。下の学年の子に優しく話しかけたり手伝ったりする姿が見られ、とても嬉しく思いました。また、6年生は、26日(日)～27日(月)に日光修学旅行に行ってきました。「TEAMWORKを深めよう!～日光修学旅行～」をめあてに掲げ、どんな気持ちをもって臨み、行動すればTEAMWORKを深めることができるのか、各自が考えながら活動に取り組みました。初めての宿泊体験でしたが、事前に担任を中心にしっかり計画・準備してきたことを生かし、全ての行程を無事に終えることができました。子どもたちが修学旅行を通してどんなことを学んだのか、これからの学校生活で見せてくれることを楽しみにしています。

もう一つ、6年生が関わった活動として、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」があります。一人ひとりが国際平和について考え、国際社会で自分たちができることを言葉で表現しました。本校代表として青葉区審査会で発表した児童のスピーチの中に、次のような話がありました。「エコバッグを使うことはエコだと言われているけれど、本当にそうだろうか。エコバッグを作るのにも環境に負荷がかかり、場合によってはレジ袋を複数回使い、適切に処分することがエコにつながる場合もある。大人が言っているから使うのではなく、一度考えてみてほしい。」という内容です。この話を聞いて、私自身あまり深く考えずにエコバッグを使っているなと思いました。今持っているエコバッグをできるだけ長く使おうとは思っていましたが、もしかするとよりエコな方法があるのかもしれない。目の前の出来事に対して「なぜだろう？」と考え、知識を得てよりよい方法を見つけて取り組むことが本当に大切なことなのだと考えるきっかけとなりました。

今回のエコバッグのことに限らず、普段の学習や生活の中で子どもが感じる「なぜだろう？」はとても大切です。自分で疑問に思ったことを解決したいという思いがあると、より課題に対して興味をもち、進んで取り組もうとする原動力になります。学校では、子どもが思考する時間を大切にしています。よく考えて、友達の話や調べたことをもとに判断し、自分の意見をもって行動する経験を積み重ねることで、絶えず変化する社会に対応していく思考力や判断力・表現力が培われていくと思います。

未来に向かって子どもたちが自信をもって進んでいくことができるよう、今後も「なぜだろう？」を大切に学習を進めて参ります。ご家庭でも、日常生活の中でお子さんがじっくりと考える機会を大切にいただければと思います。引き続き、学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。